



-1-

熊本県警察では、熊本地震や令和2年7月豪雨など、過去の災害で被災者から寄せられた多くの要望や意見を受け止めるとともに、皆さまが避難生活において、更なる犯罪等に巻き込まれることがないよう、「防災女子」（女性目線の防災防犯に特化したマニュアル）を作成しました。

避難生活での不安が少しでも解消されますよう、是非、ご活用ください。また、「避難所での生活は不自由なので避難したくない」ということな

被災された方へ



女性目線の

防災防犯マニュアル

熊本県警察

※ 番号順に点線を山折りし、財布などに入れて活用してください。



-2-

避難生活が長く続くと、将来への不安やストレスなどから、トラブルが起こりやすくなります。

傷害事件や貴重品の盗難のほか、わいせつ行為等の性的犯罪なども発生するおそれがあり、女性や子供（男児を含む）の方が、成人男性に比べて被害に遭いやすいことが国際的に知られて

・大規模災害時には、女性や子供が被害に遭いやすい

知っておこう

相談窓口

避難所での困りごとやトラブルに関する相談は、下記まで！

- ◇ 避難所の相談窓口
- ◇ 最寄りの警察署（ 警察署）
電話番号：
- ◇ 熊本県女性相談センター
096-381-4454（ストーカー等）
096-381-7110（DV）
- ◇ 性犯罪相談電話
0120-8343-81
096-384-1254
- ◇ 警察本部警察安全相談室
（平日：午前8時30分から午後5時まで）
＃9110
096-383-9110



-7-



-3-

暗がりや死角となるべく避けて複数で行動しましょう。

万が一、犯罪に遭いそうになったら、大声を出して周囲に助けを求めましょう！（不審者は大きな音や声が苦手です。）

自宅に戻る場合も、家の中に不審者が潜んでいるかもしれないので、注意が必要です。

また、子供の遊ぶスペースを確保し、大人が交代で見守りましょう！

- ・一人で行動しない
- ・一旦帰宅する際にも注意
- ・交代で子供を見守ろう

防ごう！

それでも被害に遭ったら

- ①
- ・直接もしくは避難所の相談員などを通じて警察に通報
- ・緊急事案は、その場で110番！

万が一被害に遭ってしまったら、更なる犯罪を防止するためにも、すぐに警察に通報し、被害を届け出ましょう。安全な場所で話をお聞きます。

どうしても通報しにくい場合は、避難所相談窓口の相談員や各種相談電話などを通じて通報してください。



-6-



-4-

プライバシースペースを確保することや、トイレ、物干し場等の配置を少し変えるだけでも犯罪等の起きにくい環境をつくることができます。また、女性目線の意見を取り入れることで、より良い環境が生まれます。

物資の配分や炊き出しなどの避難所での作業は、男女共同で行うとともに、避難所の運営に積極的に参加しましょう。

- ・犯罪の起きにくい環境をつくらう
- ・避難所での作業は、男女共同で行おう

参加しよう！

DV・ストーカー被害者の方へ

- ・避難者名簿の記載に注意
- ・警察に居場所を伝えておこう！
- ・未相談の方は必ず警察に相談を！

避難者名簿には、相手方の目に触れる可能性も考えて、記載には注意してください。記載する場合は、名簿に安否確認時の個人情報開示の同意、不同意について記載しましょう。

DV・ストーカー事案は急展開し、凶悪犯罪に至る可能性があります。まず警察に相談し、居場所を伝えて助言に従ってください。



-5-